

講義名	ネットコミュニケーション			授業形態	
担当教員	寺口 敏生	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

**主題と概要**

携帯電話やスマートフォン等の情報通信機器の普及と発展に伴い、コミュニケーションに関する多様なネットサービスが日々開発・提供されているという社会的背景がある。本講義では、インターネットを介したコミュニケーションが人間社会にもたらす変化について、さまざまな領域の事例を紹介しながら理解・分析することを目指す。

**到達目標**

人間の認知やネットコミュニケーションに関わる事例の理解を深めることで、インターネットを介したコミュニケーションにまつわる現象を主体的に分析できるようになる。

**提出課題**

講義中に、講義内容に関するレポート課題を出題する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

レポート等のフィードバックは終盤の講義中に行う。

**評価の基準**

期末試験は実施せず、講義中に出題するレポート課題にて評価する。レポートの内容は3段階評価とする。レポート課題は、基本的に次回講義までに提出することとする。

**履修にあたっての注意・助言他**

2回目以降の講義資料は、講義開始前にWeb経由で提供する。レポート課題は、事情の説明があれば期日後も受け取るが、配点が少なくなる点には留意されたい。

**教科書**

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

**参考図書**

.なし。				
------	--	--	--	--

その他
-----

**授業計画**

1. ガイダンス
2. ネットコミュニケーションとソーシャルメディアの概要
3. 人間の認知
4. コミュニケーションの形態
5. ネットコミュニケーションの明確
6. SNSと承認欲求
7. 炎上のメカニズム
8. スティア情報との付き合い方
9. フェイクニュースの現在
10. インターネットによる学び方の変化
11. インターネットによる働き方の変化
12. 情報発信
13. AIとのチャットコミュニケーション
14. 講義のふりかえり
15. まとめ

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

講義中に紹介した内容は、必要に応じてインターネットや書籍を用いて復習し、講義内容への理解を深めて欲しい。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

「人間の精神機能と心理学に関する基礎的知識の獲得」と「意見や立場の違いを理解し、インターネット上で能動的にコミュニケーションする能力の獲得」を達成するための科目である。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

講義に関する質問は、講義時間外でも随時受け付ける。

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり。具体的な事例を基に講義する。

**備考**

--